

国際奉仕委員会

国際奉仕委員会 統轄委員長 正田 康高（深谷東RC）

1905年2月23日、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日です。

この日がロータリーの創立記念日であり2月が『世界理解月間』に定められました。

世界理解月間を踏まえ----ロータリーの目的第4項

**『奉仕の理念で結ばれた職業人が、
世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること』**

世界理解、並びに国際奉仕には発展途上や開発途上の国に資金援助や人道的奉仕プロジェクトを2ヵ国以上のクラブが関わり、いずれか1ヵ国で実施します。

具体的には1.医療支援 ②教育支援 ③地域社会支援 ④人道支援 ⑤平和推進

⑥環境保護など国や地域により支援は様々です、相手先との的確な支援体制を確立しなければなりません。

上記の方針を委員会で精査しスキルを学び、活動してまいります。

※グローバルサポート委員会：道支援等の補助金プロジェクトの活用

※グローバル交流委員会：地区内のクラブ等の姉妹クラブなどの支援